

「福井アリーナの整備・運営に関する基本計画（案）」の概要

1 アリーナコンセプト・整備方針

① アリーナの概要

名称：福井アリーナ
計画地：福井市東公園内
延床面積：約12,000㎡
建築面積：約8,700㎡
施設規模：メインアリーナ、サブアリーナ、その他
付帯設備：大型映像装置、音響、演出照明装置 他
席数：スポーツ 5,000席、コンサート 4,500席
利用想定：スポーツ（Ｂリーグ等）
ライブ、コンサート
MICE（セミナー、コンベンション、展示会等）

② 整備・運営方針

【にぎわいの創出】
○「福井ブローウィンズ」のホームアリーナを想定し、新B1（B.LEAGUE PREMIER）基準を満たすよう計画

【多世代交流の促進】
○プロスポーツ、コンサート等の開催により、県内外の多世代が集い、交流できる県都にふさわしい施設

【防災機能の強化】
○災害時における一時避難施設や物資搬出入の広域拠点としての役割を担い、地域の防災機能を強化

【地域共生の推進】
○周辺の良い住環境の維持・保全に最大限配慮

【コスト意識の徹底】
○最低限の機能で計画し、床面積を最小化。構造的にも維持管理においても最も合理的かつローコストな計画

③ 福井ブローウィンズ

【クラブキャッチフレーズ】
福井に吹く（BLOW）＋ 風（WIND）吹く、いい風

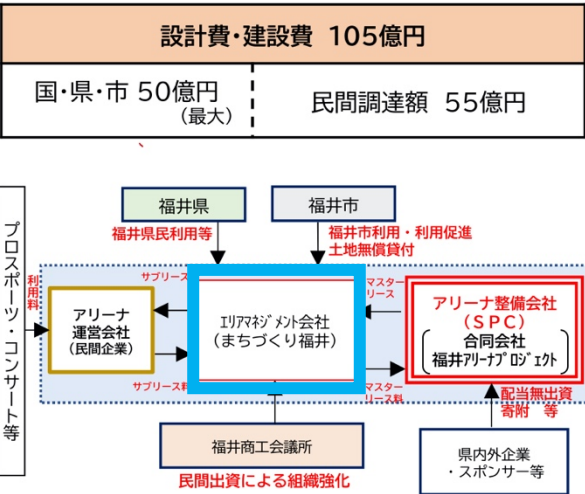
【クラブスローガン】
「ともに巻き起こそう、とてつもない旋風を」

＜チーム状況＞
○令和6年1月22日現在、27勝3敗でB3リーグ首位
○複数のホーム戦で3,000名を超える観客
○ホーム戦入場者数は、1試合平均1,910名（昨季のB3平均 約800名）



2 整備・運営スキーム等

① 整備・運営スキーム



② 年間収支（キャッシュ・フロー）計画

項目	単位：百万円
収入の部 合計	691
メインアリーナ収入 等 （県民利用等：2億円程度） （市利用・利用促進：0.7億円程度）	559
その他利用料・使用料	132
支出の部 合計	665
運営・維持管理費	401
公租・償還・修繕積立等	264
収支差額	26

3 利用計画・経済波及

① 利用想定

用途	日数	備考
プロスポーツ	60日	30試合＋α
コンサート	110日	40公演×2日間（＋α）
MICE	20日	－
県民利用・市利用	160日	－
メンテナンス	15日	設備点検等
合計	365日	－

② 経済波及効果

波及効果：年間 56億円
※福井県産業連関表による試算結果

○年間来場者見込：58万人

○来場者による入場料や交通、飲食・物販、宿泊等による駅周辺・県内での消費額：年間42億円

③ 整備スケジュール

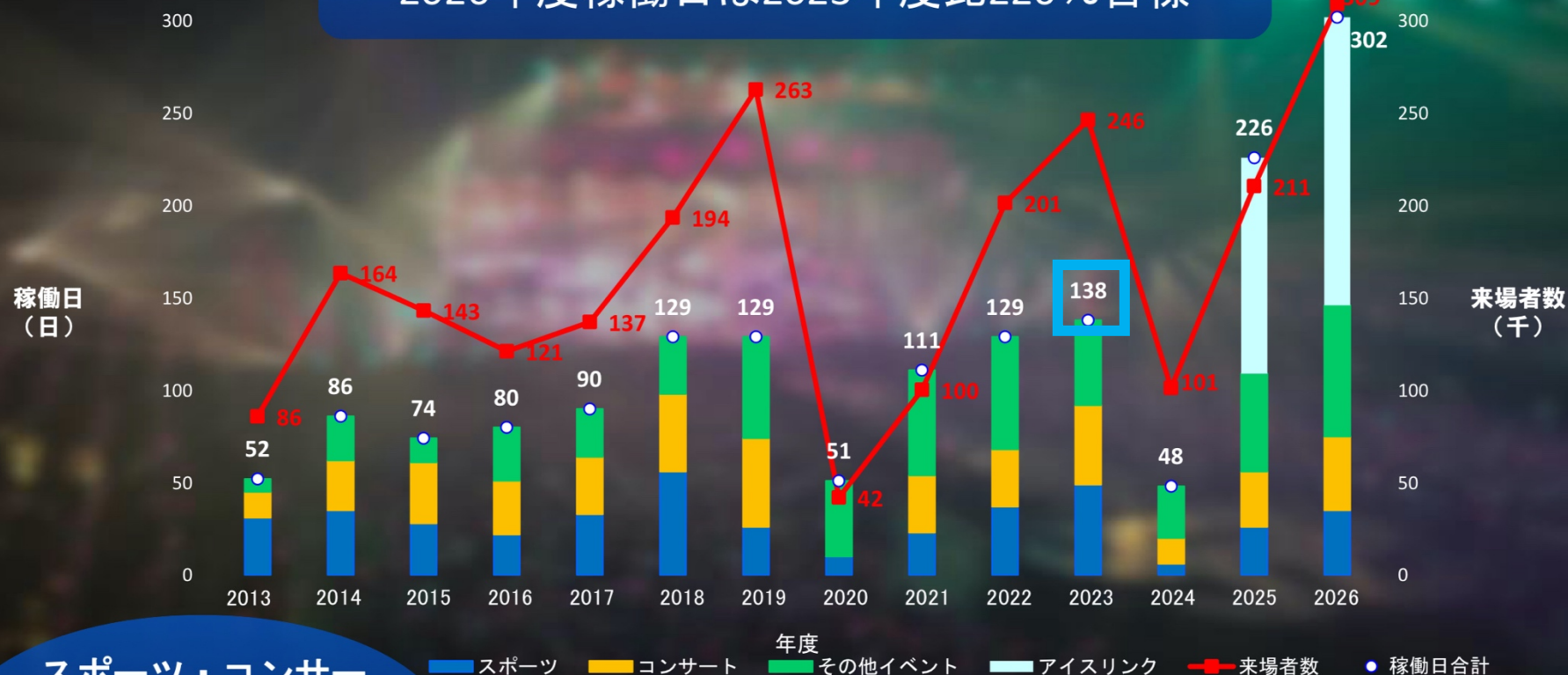
令和6（2024）年末頃～：実施設計
令和7（2025）年末頃～：建設工事
令和9（2027）年夏頃～：開業準備

令和9（2027）年秋頃開業予定

■稼働日・来場者数推移

※2013～2024年度実績、2025年度・2026年度見込

アイスリンク稼働で
2026年度稼働日は2023年度比220%目標



スポーツ・コンサート・その他イベントと
バランスのよい稼働で
幅広い来客者層

※2019年度～2021年度はCOVID-19影響により、稼働減
※改修に伴い2024年度は5ヵ月間、2025年度は9ヵ月間の営業

金沢城公園

左が橋爪門続櫓、五十間長屋、右が菱櫓



エレベータ棟、坤櫓 整備イメージ(県庁より)



2025.7.4
予算決算委員会資料(3)
民主・みらい 野田哲生